

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室 (旧 薬化学研究室)

2015. 04



ORGANIC CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANO

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

- 1) ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
- 2) σ 対称環状炭酸エステル類の触媒的不斉開環反応の開発研究
- 3) 新規テトラサイクリン系抗菌剤の合成開発研究
- 3) HWE反応を鍵反応とするリン脂質合成法の開発研究
- 4) ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品素材の探索研究

The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報はホームページ（「分子創薬化学」）で検索、またはQRコードで！）に掲載しています。

詳細についてのご質問等は、研究室（6階東）をお訪ね下さい。



Members of Our Lab.



2015-04-04撮影
日本さくら名所100選・西部公園にて

助教
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

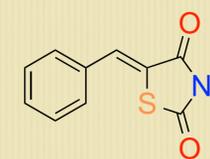
Key Compounds



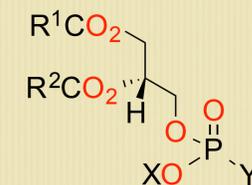
diketopiperazine



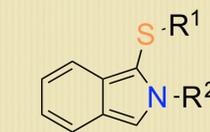
bis-lactim ether



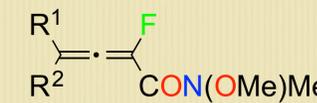
thiazolidine-2,4-dione



glycerophospholipid



isoindole



fluorinated allene

Key words 機能性分子 創薬化学
高選択的反応

技術補佐員

竹内 菜穂子
Nahoko TAKEUCHI

学部薬学科7名・創製薬科学科3名
大学院博士前期課程3名・博士後期課程1名

平成26年度修士論文

- ・大寺 由季恵 「新規テトラサイクリン系抗菌剤開発に関する基礎的研究」
- ・住吉 隼斗 「HWE反応を鍵反応とする光学活性グリセロリン脂質合成法の開発研究」
- ・宮城 紫 「オルトフタルアルデヒド法を基盤とした新規口臭検査法開発に関する基礎的研究」
- ・和田 良介 「不斉アルドール反応を触媒するN-メチルジケトピペラジン型有機触媒の合成開発研究」

平成26年度卒業論文 (創製薬科学科)

- ・戸口 宗尚 「抗菌活性物質ロイテリンならびに関連誘導体の合成研究」
- ・仲村 明人 「L-リンゴ酸誘導体の光学活性に関する有機化学的研究」
- ・樋口 恵理 「オルト位に含素複素環を有するベンズアルデヒド誘導体の合成研究」